

# 北見市における景気動向調査報告書

< 第 II 四半期 >

北見商工会議所

## I. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成29年10月13日

(2) 調査対象期間 平成29年7月～9月期実績および平成29年10月～12月期見通しについて調査した。

### 2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

### 3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	20社	66.6%
建設業	30社	22社	73.3%
卸売業	30社	24社	80.0%
小売業	35社	22社	62.8%
サービス業	25社	17社	68.0%
合計	150社	105社	70.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

## Ⅱ . 概 況

### 《 全 体 の 動 き 》

平成29年度第Ⅱ四半期<7月～9月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」22.9%、「悪化企業」31.4%、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△8.5となっており、前年同期比(△13.9)との比較では5.4ポイントの好転傾向を示しました。また、前期調査<29年度第Ⅰ四半期>と比較してみると前回△1.8→今回△8.5と6.7ポイント悪化を示しています。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△30.0、建設業D・I値4.5、卸売業D・I値16.6、小売業D・I値△18.2、サービス業D・I値△23.6となっており、前年同期調査と比較すると、卸売業で38.4、建設業21.2、小売業0.1ポイント好転した一方、製造業で34.5、サービス業6.0ポイントの悪化傾向となりました。

特に製造業については前年同期と比べ34.5ポイントの大幅な悪化を示し、D・I値がプラスからマイナスに大きく転じる結果となり、一転厳しい状況となっています。原材料の不足や高騰の影響があったものと思われます。対称的に卸売業と建設業D・I値が前年同期と比べマイナスからプラスに転じる結果となりました。

来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」14.3%、「悪化企業」35.2%でD・I値△20.9と、前年同期見通し(△14.8)に比べ△6.1ポイントの悪化となり、厳しさが増す状況にある来期見通しとなっています。

### 《 業 種 別 の 動 き 》

#### 1) 製 造 業

##### 生 産 高

前年比で「増加企業」20.0%、「減少企業」35.0%、D・I値△15.0と前年同期に比べ19.5ポイントの大幅な悪化となりました。

##### 採 算

前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」45.0%、D・I値△25.0と前年同期に比べ16.0ポイントの悪化となりました。

##### 来期見通し

業況D・I値△35.0、生産高D・I値△25.0、資金繰りD・I値△10.0と、前年同期に比べ生産高で全てのD・I値で悪化を示しました。

#### 2) 建 設 業

##### 完 成 工 事 高

前年比で「増加企業」45.5%、「減少企業」18.2%、D・I値△27.3と、前年同期に比べ35.6ポイントの大幅な好転となりました。

##### 採 算

前年比で「好転企業」27.3%、「悪化企業」31.8%、D・I値△4.5と、前年同期に比べて24.6ポイントの大幅な好転を示しました。

##### 来期見通し

業況D・I値△13.6、完成工事高D・I値△13.7、資金繰りD・I値0と前年同期と比べ若干の好転傾向を示しました。

### 3) 卸売業

#### 売上高

前年比で「増加企業」41.7%、「減少企業」29.2%、D・I値12.5と前年同期と比べ34.3ポイントの大幅な好転を示し、マイナスからプラスに転じる結果となりました。

#### 採算

前年比で「好転企業」20.8%、「悪化企業」33.3%、D・I値△12.5と前年同期に比べ0.5ポイントと若干の好転を示しました。

#### 来期見通し

業況D・I値△20.8、売上高D・I値△25.0、資金繰りD・I値0と前年同期に比べ資金繰り以外のD・I値で悪化を示す結果となりました。

### 4) 小売業

#### 売上高

前年比で「増加企業」13.6%「減少企業」36.4%、D・I値△22.8と前年同期に比べ4.5ポイントと若干の好転傾向を示しました。

#### 採算

前年比で「好転企業」18.2%「悪化企業」27.3%、D・I値△9.1と前年同期から9.1ポイントの好転傾向を示しました。

#### 来期見通し

業況D・I値0、売上高D・I値△4.5、資金繰りD・I値0と前年同期と比べ全てのD・I値で好転傾向を示しました

### 5) サービス業

#### 売上高

前年比で「増加企業」17.6%、「減少企業」47.1%、D・I値△29.5と、前年同期に比べ5.8ポイントと若干の好転を示しました。

#### 採算

前年比で「好転企業」11.8%、「悪化企業」35.3%、D・I値△23.5と前年同期と同じ値を示しました。

#### 来期見通し

業況D・I値△23.5、売上高D・I値△41.2、資金繰りD・I値△11.7と前年同期に比べ資金繰り以外のD・I値で悪化傾向を示しました。

## 業況（前年同期比）



	26.10~12 26年度Ⅲ	27.1~3 26年度Ⅳ	27.4~6 27年度Ⅰ	27.7~9 27年度Ⅱ	27.10~12 27年度Ⅲ	28.1~3 27年度Ⅳ	28.4~6 28年度Ⅰ	28.7~9 28年度Ⅱ	28.10~12 28年度Ⅲ	29.1~3 28年度Ⅳ	29.4~6 29年度Ⅰ	29.7~9 29年度Ⅱ
◆ 全業種	-27.6	-29.6	-18.8	-9.2	-6.5	0.0	-6.9	-13.9	-7.4	0.9	-1.8	-8.5
■ 製造業	-27.2	-21.7	-21.7	-13.7	4.0	9.1	12.0	4.5	22.8	14.4	-13.6	-30.0
▲ 建設業	-31.0	-25.0	-3.7	-28.2	-14.2	-8.3	-21.8	-16.7	-9.1	27.2	27.3	4.5
✕ 卸売業	-7.4	-20.0	-3.8	4.3	-10.0	18.1	-12.0	-21.8	-36.4	-8.6	4.0	18.6
✕ 小売業	-54.2	-39.2	-41.6	-16.0	0.0	0.0	-11.5	-18.3	0.0	-13.1	-9.1	-18.2
● サービス業	-11.8	-50.0	-29.5	18.7	-16.7	-22.3	0.0	-17.6	-16.7	-17.7	-2.5	-23.6

## 業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増	得 意 先 減 少	同 業 者 間 の 競 合
建 設 業	人 材 不 足	諸 経 費 増	人 件 費 増	同 業 者 間 の 競 合	得 意 先 減 少
卸 売 業	人 材 不 足	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同 業 者 間 の 競 合	人 件 費 増
小 売 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同 業 者 間 の 競 合	人 材 不 足	人 件 費 増
サ ー ビ ス 業	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増	同 業 者 間 の 競 合	得 意 先 減 少
合 計	人 材 不 足	諸 経 費 増	同 業 者 間 の 競 合	得 意 先 減 少	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

### ○前年同期比

全業種で見ると、前年同期1位「諸経費増」と2位「人材不足」が入れ替わり、「人材不足」がトップとなった。3位以下に変動は無かった。

業種別では、製造業・建設業・小売業・サービス業で前年同期同様の問題がトップ回答となっており、業界における慢性的な課題となっていることが伺える。

また、卸売業では前年同期3位だった「人材不足」がトップとなった。建設業では前年同期4位の「人件費増」が3位。小売業ではランク外から5位に順位を上げた。

全体を通して、人材に関する問題が上位占めてきており、より深刻化していることが伺える。また、「諸経費増」「同業者間の競合」という問題も前年同様に抱えていることが伺える。

### ※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

(製造) ○原材料の不足・高騰 (一般製材)

(建設) ○人材の高齢化 (土木工事業)

(卸売) ○大型店舗、インターネットなどとの価格比較。顧客層の高齢化による縮小化 (塗料卸売)  
○仕入価格や人件費・諸経費増による収益低下を販売価格に転嫁できるか (飼料卸売)

(小売) ○「企業は人成り」という意味を見つめ直す必要がある (身の回り品卸売)  
○魚の水揚げ量の悪化 (鮮魚小売)

## 業況

※太字アンダーラインは複数企業が回答

- 製造業 ⇒ 好転（農業機械、一般製材）  
悪化（建具、麺、製菓、ビール、印刷、石工品、石灰製品）
- 建設業 ⇒ 好転（電気工事）  
悪化（冷暖房設備、給排水設備）
- 卸売業 ⇒ 好転（作業服、鉄鋼、玩具、食品、塗料）  
悪化（厨房機械、電気機器、酒、建築資材）
- 小売業 ⇒ 好転（眼鏡、介護用品）  
悪化（衣服、自動車、絵画、魚、酒）
- サービス業 ⇒ 好転（美容、IT、喫茶）  
悪化（ホテル、清掃、理容、レンタカー）